

令和5年度
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	9
事業の状況	13
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	13
公2 生活創造活動への支援	24
公3 芸術文化の振興	27
公共 丹波地域情報の発信等	29
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	30
他1 芸術文化団体等活動支援事業	30
III 法人会計	31
施設の利用状況	33
(1) 丹波の森公苑	33
(2) 丹波年輪の里	34
(3) ささやまの森公園	34
(4) 丹波並木道中央公園	35
事業の受託状況	37

令和5年度

公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

令和5年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和63年(1988)に設立(平成24年(2012)公益財団法人へ移行)され、「丹波の森宣言」(昭和63年9月)に基づき、丹波地域を「丹波の森」と位置づけ、緑豊かな自然環境と伝統文化など地域の特性や資源を生かしながら、人と自然と文化、産業の調和した地域づくりを目標に、住民、事業者、行政が一体となって、「丹波の森づくり」を推進してきました。

また、県立4施設(丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園)の指定管理者として、丹波の森づくりの理念に基づいて、施設運営に取り組んでいます。

平成30年度には、「丹波の森宣言」から30周年を迎え、今後の30年を見据えた方向性「丹波の森づくりのこれから」を示しました。

また、「丹波の森づくり」の推進の原動力となり、その礎を築かれた河合雅雄先生が取り組まれた丹波の森大学、縄文の森塾、ウィーン国際交流のシンボル事業でもあるオオムラサキの保護増殖等、当協会の主要事業として展開してきました。

令和4年度は、まだまだ新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中ですが、感染対策を徹底し、計画した事業はほぼ実施することができました。

丹波地域は、豊かな自然環境や森のスローライフなどの生活スタイルに欠くことができない地域特性を有し、新型コロナと共存することとなる今後の社会にとって、最も適応した地域とされ、田園回帰など移住者の増加につながっています。

しかし一方で、令和3年度に丹波県民局が実施したアンケート調査において、丹波地域で30年以上にわたり取り組んできた「丹波の森宣言・丹波の森構想」の理念や活動に対する認知度が3割未満であることがわかりました。

この結果を受け止め、令和5年度においては、丹波の森宣言・丹波の森構想を基本理念とし実現するため「アクションプラン」づくりを重要な課題として取り組みます。

1 (公財) 兵庫丹波の森協会の施策推進について(課題を踏まえて)

1) 課題等

理事会や小委員会の中で、次の通り当面の課題を整理しました。

①丹波の森づくり(理念の浸透)

丹波の森宣言・丹波の森構想・「丹波の森づくり＝丹波の地域づくり」の理念を地域の皆さんに浸透させること、あわせて、地域へ浸透させる役割を担う協会や県・市職員が、理念を学び返すことが重要であること。

②丹波地域の皆さんに伝える

丹波の森づくり(丹波の森宣言や丹波の森構想)とは何に取り組むことなのか、兵庫丹波の森協会は、どんなことをしている組織なのかを住民に知ってもらうこと。

③社会環境の変化

協会設立当初は10町で構成され、また、地域づくりを支援する民間組織がなか

った時代から、2市になり多くのNPO法人など民間中間支援組織や地域で積極的に活動する人が生まれるなど社会環境が変わる中で、協会のあり方や取り組みの整理が必要になっていること。

④協会・2市・県民局の連携強化

丹波の森づくりを効果的に事業推進するためには、今以上に、協会、市、県の連携が重要であることから、それぞれの役割を明確にすること。

⑤丹波の森づくり（人材づくり）

丹波の森に関わる人材づくりのため、森づくりに関わる人をつなぎ、新たにかかわる人材を育成する、また、中間支援組織（民間）との連携、子どもから高齢者まで切れ目のない人材育成すること。

⑥丹波の森研究所

研究テーマや研究に向けた取り組みに対し、2市との連携を深めるとともに、2市にある中間支援組織との連携を深めること。

⑦4指定管理施設の取り組み

協会が管理運営する意義を考え、丹波の森づくりの拠点であることから、理念に沿った取り組みを進め、さらに4施設の連携を深めて、直接、地域住民や参加者に丹波の森づくりを伝えるとともに、将来の指定管理者の公募に向けた強みを作り出すこと。

⑧計画の修正や成果指標

丹波の森づくりを計画的に進めていく中で、定期的に計画を検証する。目標を設定し、成果を評価する仕組みをつくること。

2) 課題等に対する令和5年度の取り組み

①「アクションプラン」づくり

小委員会や市・県・協会の議論を深め、「丹波の森宣言・丹波の森構想」の理念を実現するための「アクションプラン」を協議し、理事会に対して、経過を随時報告するとともに、アクションプランを決定します。

・小委員会

協会理事、市県担当者、丹波の森研究所研究員で構成する「丹波の森」を考える小委員会で、30年記念に整理された「丹波の森づくりの取組の方向（提言）」及び「丹波2050地域ビジョン」を踏まえつつ、理念を実現する「アクションプラン」について協議・検討します。

小委員会のメンバーに加え、現在丹波地域で活動している人や団体、過去に丹波の森構想に取り組んできた研究員など、様々な方々に意見を聞く場も設定します。

・市、県、協会協議

アクションプランは、市、県、協会で策定を進めるものであり、ともにプランづくりに取り組むとともに、小委員会にかかる基礎資料の整理や提供、市民を巻き込む方策について検討します。

・地域住民への周知

関係者だけで構想やアクションプランをつくるのではなく、その過程も含め、地域住民を巻き込みながら、策定を進める。具体的な住民の巻き込み方

については、市とともに検討していきます。

②継続した取り組みの中での丹波の森づくり（理念の浸透）

- ・子どもから高齢者まで、切れ目なく「丹波の森づくり」を学べるよう取り組みます。
- ・丹波の森づくりを周知する広報誌（市広報誌への掲載を含む）の作成、地域住民への理念の浸透とともに、協会の取り組みを周知します。
- ・4施設連携の一環として、各施設のプログラムやイベント情報を掲載した広報誌の作成を検討します。
- ・協会（4施設含む）が実施するプログラムやイベント開催時において、丹波の森づくりにかかる理念の浸透を図ります。

③協会・2市・県民局の連携強化

- ・定期的な市・県政策部門との会議開催（推進連絡会）
- ・分野ごと、事業ごとに、協会（研究所含む）と市関係部門との連携
- ・協議を進めることで、それぞれの役割を明確にし、一体的に丹波の森づくりを推進します。
- ・地域住民への理念浸透に対し、重要な役割を担う市及び協会職員が丹波の森づくりを学ぶ場を作ります。
- ・丹波の森研究所は、市・県との連携を図り、地域課題解決のため、市・県と地域とともに考える地域伴走型支援を行います。

④丹波の森づくり（人材づくり）

- ・子どもから高齢者まで、切れ目のない学びや体験が提供できるよう、講習や講座、プログラムなど、取り組みや事業の整理を行います。
- ・丹波の森大学では、だれもが参加しやすい環境の整備（開催曜日や時間、回数、市との連携開催など）検討するとともに、丹波の森づくりの理念を広く浸透させます。あわせて、学びを深化させるため、ワークショップ形式（ゼミ方式）を一部取り入れます。
- ・丹波の森大学を市と連携して取り組むことにより、より深く丹波の森づくりを地域に浸透させます。

⑤民間組織や人との連携強化

- ・神戸大学丹波篠山フィールドステーションや丹波市市民活動支援センター等の中間支援組織との情報共有を図り、それぞれと連携し、効率的・効果的な丹波の森づくりを推進します。

⑥4指定管理施設の運営

- ・協会が指定管理者である強みをさらに深めるため、丹波の森づくりを基軸とした施設運営に努めます。地域住民や参加者に直接伝える取り組みを推進します。
- ・3施設は、令和5年度は、現指定管理期間の最終年度であり、同時に次期指定管理に向け取り組む年度です。引き続き指定管理者に選定されるよう、充実し

たプログラム作りに取り組みます。

- ・2025年の「大阪・関西万博」に向け、4つの施設や丹波の森の魅力を国内外アピールできるように、4施設が連携したフィールドパビリオンとして魅力あるプログラムの提供に取り組みます。

指定管理施設の在り方については、現時点では不透明な部分もありますが、丹波の森構想、丹波の森宣言を推進する中心である「公益財団法人兵庫丹波の森協会」の目指す方向性は、明確であり、丹波の森づくりを広く地域住民に浸透させ、丹波の森づくりに関わる人材を育成・確保することが重要です。

これらの取り組みは、協会だけでなく、協会を設立した2市と県とともに、連携を深め、継続して職員意識の向上を図ることは不可欠です。

今後さらに議論を深め、丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波地域の森づくりを推進します。

最後に、財政上の課題として、県補助金である地域振興事業補助金の大幅な減額や、金利の低下により基本財産にかかる運用益も低減する中、協会の収入確保は厳しい状況にあります。

令和5年度においては、事業の見直しや拡充などを進めるとともに、丹波の森づくり基金の計画的な活用を検討します。

2 部門・施設ごとの主な取り組み方向

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1) 魅力ある地域づくりの推進
- (2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進
- (3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

1) 協会事務局

- ・丹波の森宣言及び森構想に即した「アクションプランづくり」
丹波の森を考える小委員会や市・県との協議の場を設け、「アクションプラン」等づくりに取り組みます。
- ・市、県との連携強化
丹波の森構想推進連絡会（協会と市政策部門の会議）を定期的に行い、理念推進に向け、連携を図るとともに、役割、職員意識の向上を図っていくとともに、具体的な取り組みに繋げていきます。
- ・指定管理の継続に向けて
3施設が、令和5年度で指定管理期間が終了します。次期指定管理に向け、情報の収集を図り、丹波の森づくりの拠点として、継続して指定管理が受けられるよう取り組みます。
- ・丹波の森大学（丹波の森研究所とともに）
若い年代を含め、広い世代が丹波の森づくりを学べる環境づくりを進めるとともに、丹波の森づくりに関わる人材の育成を進めます。
あわせて、市及び協会職員の研修の場として位置づけ、丹波の森づくりを推進する人材、意識向上を図っていきます。
- ・ウィーン市13区ヒーティングとの都市間友好親善提携の締結
丹波篠山市、丹波市とウィーン市13区の新たな都市間友好親善提携に向け、2市と連携しながら令和5年度内の締結を目指します。
友好親善訪問やオオムラサキを通じた交流とともに、WEBなどを活用した新たな交流を検討していきます。

2) 丹波の森研究所

- ・「アクションプラン」づくり
令和5年度の重点的な取り組みとして、「丹波の森」を考える小委員会や市・県との連携会議をコーディネートし、アクションプラン（案）等の作成に取り組めます。
- ・市、県との連携
市とともに調査研究のあり方を検討し、政策部門のみならず、調査研究に係る部門と今以上に連携を深め、情報を収集し、情報と課題を共有する中心的な役割を担うとともに、今後の研究テーマを検討します。
- ・地域伴走型シンクタンク活動の強化
市、県との連携を図るとともに、地域活性化や地域固有の課題についても地域住民とともに考え、課題解決に向けた支援を行います。
また、神戸大学丹波篠山フィールドステーションや丹波市市民活動支援センター等の中間支援組織や地区のまちづくり協議会や自治協議会との連携協働を図り、課題解決に向けた支援を行います。
- ・生物多様性の保全創生
丹波地域の自然、生活、文化の継承と再生を図るための重要な基盤となる生物多様性について、丹波の森公苑の里山エリア等を中心に保全創生に関わる実践的な取り組みを行い、定期的な情報発信を行います。

・ **連携による研究所のサポート体制の強化**

人と自然の博物館や森林動物研究センターなどの研究機関との連携強化、市民・企業・大学からの研究員参加など研究所のサポート体制の多角化・強化を図ります。

3) 丹波の森公苑

・ **丹波の森づくりの理念の浸透と人材づくり（担い手の育成）**

自然体験学習、里山の整備、芸術文化の振興などの各種事業を継続展開し、各事業ごとに丹波の森づくりに関する考え方を説明し理解を進めるとともに、事業での取組や体験が地域で実践されるよう丹波の森づくりの担い手育成に繋がります。

・ **施設の利用促進**

令和3～4年度のホール天井耐震化、各施設の修繕、アトリエ棟・テニスコートの改修など、大規模な改修工事完了の機を捉え、今後のさらなる利用促進に向けたリニューアルオープン記念事業を実施します。

・ **人と自然が共生する丹波の森づくりの推進**

丹波の森公苑の里山を活用し、森づくり講座の開催や里山ボランティアとの協力を通じて里山林の利活用を考える機会を提供するとともに、それに携わる人材を育成します。また、「丹波縄文の森塾」、「里山の秋の実り体験」、「国蝶オオムラサキの舞う里山づくり」等により自然体験学習の場を提供し、森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進します。

・ **多様なライフスタイルを創造するための活動支援**

丹波地域の生活創造活動グループの活動を支援するとともに、「丹波OB大学・丹波OB大学大学院」、「講座丹波学」の開設等により生涯学習と交流の機会を提供し、地域づくりに参画する人材養成に取り組みます。また、「丹波の森子どもミュージカル体験塾」の開催等により子どもたちの感性や表現力を磨き、芸術を創造する楽しさを体験する機会を提供し、明日を担う丹波っ子を育成します。

・ **丹波が誇れる芸術文化の振興**

「丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会」のコンサート開催等を支援し、優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、地域内外の交流を促進します。また、丹波地域の文化協会・広域文化団体に組織する「丹波文化団体協議会」の芸術文化活動を支援するとともに、丹波の森公苑のホールや展示ギャラリー施設を最大限活用し、芸術文化の振興を図ります。

4) 丹波年輪の里

・ **木工クラフトや木育を通じた丹波の森づくりの普及と人材づくり**

木工クラフトを体験することで自然の恵みを感じ、木育を通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めることで、丹波の森づくりにかかる人材を育成します。

・ **カルチャー・スポーツ・レクリエーションの促進**

労政福祉課のCSR施設としてゴールデンウィークフェスタ、心を届けるたんば絵てがみコンクール、グラウンドゴルフ大会など魅力ある事業の展開や、活動団体を支援することにより、県民の憩いの場を提供します。

- ・丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動の普及促進

丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）やアートクラフトフェスティバル、座っ展、ウッドワーカーズクラフトなど、木とのふれあいを通じた芸術文化活動を振興する事業を進めます。

- ・遊びを通して木のぬくもりや良さを伝える木育活動の推進

五感を通じて木の良さや温もり、優しさを感じられるよう、幼児を対象として県下の認定こども園等への木のおもちゃの貸出しやワークショップを実施します。

5) ささやまの森公園

- ・自然の恵み「森の活力」を体験することで丹波の森づくりの大切さを知る

255haの樹林が育む「森の活力」を体験し、「里山の美しさ」「森の創造力」を実感することで、丹波の森づくりに共感する森人を育成します。

- ・森づくりを愛する森人を育てる

プログラムのほとんどはボランティア”活動スタッフ”の手により企画、運営されています。このボランティア活動を推し進めながら、丹波の森づくりに直接かかわる森人を育成します。

- ・縄文の知恵を今に伝える里山文化の記録と保存

里山に伝わる有形・無形の文化財を「守り、伝えて」、新時代に求められる新たな知恵を「創造」します。

- ・感動の森の創造

来園者の方々が「来てよかった」、「また来たい」と言ってもらえる公園づくりに努めます。

6) 丹波並木道中央公園

- ・数多い若い世代の来園者と地場産材を加工できる製材設備を活用した丹波の森づくり広く普及する

都市と農村の交流及び地域活性化の拠点となる丹波地域初の都市公園。子育て世代を中心に若い世代の利用が多く、さらに4施設の中で唯一製材施設を有している公園。幅広い世代へ丹波の森づくりを伝えることに取り組みます。

- ・公園の資源を活用した公園運営に取り組み

公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が丹波の森を感じる事業やイベントを地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組みます。

- ・多様な世代が楽しめる公園運営に取り組み

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」を広くPRし、多様な世代が楽しめる公園運営に取り組みます。

令和5年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

- ア 丹波の森大学の開設
- イ ウィーンの森友好親善交流事業
- ウ 丹波の森研究所
- エ 地域づくり支援事業
 - ・ 地域づくり支援事業
 - ・ 花と緑の地域づくり事業
 - ・ 丹波の里山づくり発信事業
- オ 花づくり活動支援事業
- カ 丹波の森フェスティバルの開催
- キ 丹波年輪の里事業
- ク 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進

- ア 丹波地域生物多様性保全事業
- イ 丹波の森公苑里山事業
- ウ 丹波の森公苑環境学習推進事業
- エ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 公1 共通経費

- ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

- ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学 4 年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設
- ウ 講座「丹波学」の開設
- エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ウィーク等受入 【全施設】
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

(4) 公2 共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催 【県立丹波年輪の里】
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催 【県立丹波年輪の里】
- ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催
- エ 展示ギャラリーの開設
- オ 伝統文化活性化支援事業
- カ 座っ展 -丹波で坐る木の椅子- の開催 【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等 【全施設】
- イ 運営委員会の開催 【全施設】

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

イ 音楽活動団体等への支援

Ⅲ 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(2) 「丹波の森宣言・丹波の森構想」の「アクションプラン」づくり

(3) 市・県との連携強化

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

令和5年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の状況

(資金ベース)

I 公益目的事業会計

公1 森林文化(地域づくり)の創造

(単位:円)

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局)	「丹波の森づくり=丹波の地域づくり」を実践するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第33期 テーマ 「森のデザイン」 ・募集定員: 60人 ・受講生数: 50人 ・受講料: 8,000円 ・開催時期: 5月27日(土) ～令和6年1月20日(土) ・場 所: 丹波の森公苑多目的ルーム・セミナー室 丹波篠山市民センター 全12回(うち1回現地学習、ワークショップ4回)	1,630,000	1,558,588
	イ ウィーンの森親善訪問事業 (協会事務局)	ウィーン市は、市中央部を「ドナウ川」が流れ、市西部はウィーンの森として知られる森林地帯が広がり、ユネスコの世界遺産に登録された「ウィーン歴史地区」や国立歌劇場や博物館など、豊かな森、自然景観、文化や歴史が市民の生活の中に深く溶け込んでいる。 まさにこれは、丹波の森宣言、丹波の森構想で目指す「丹波の森」のモデルであり、今後市民を中心とした交流をさらに深めることにより、より魅力的な「丹波の森」づくりが進展させる。	○ウィーン市13区との友好親善交流 ①エベリン・サイトウ・ラクナー氏(ウィーン市13区との仲介者)とWEB会議 ・開催日: 7月7日(金)、9月12日(火)、令和6年3月21日(木) ・内容: 令和5年11月に友好親善提携30周年を迎えるため記念事業について意見交換、ZOOM等を活用した交流事業の検討やシュベルティアーデたんばガラ・コンサートを記念事業とし、区長からの記念メッセージ等を依頼。 丹波2市と13区との都市間友好親善提携実現に向けての協議。 ・状況: 都市間提携は、来春以降のウィーン市13区からの区長等訪問団の来日日程に併せて調整することとした。 ○ウィーン市写真展 ・ウィーン市13区ヒーティング友好親善提携30周年記念として、ウィーン市在住「カール・ハインドル氏」写真展を開催。 ・会場及び会期 ① 丹波の森公苑: 7月25日(火)～8月3日(木) ② ゆめタウン丹波: 8月9日(水)～17日(木) ③ 丹波篠山市民センター: 8月18日(金)～24日(木) ・写真点数 19点 ③ 11月12日(日) シューベルティアーデたんば 2023 ガラコンサートを提携30周年記念事業と位置付け、ウィーン市13区出身のピアノ奏者を招き開催。開演にあたり提携当時の元区長からのメッセージを紹介し30年に亘る交流の歩みを振り返った。 ○オオムラサキ飼育支援事業 日本の里山のシンボルともいえる国蝶オオムラサキについて飼育環境の助言と情報交換を行う。令和5年はシェンブルン動物園は改修工事のため、オオムラサキ幼虫の送付を中止した。工事は令和6年着工で完成まで2～3年かかる見込みであるが、同動物園オオムラサキ等管理責任者から「育つ場所を見つけ、飼育するので送ってほしい」との要望があり、越冬幼虫50頭を航空便で送付した。	235,000	233,548

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ウ 丹波の森研究所 (協会事務局)	丹波の森構想に基づく「人・自然・文化・産業の調和した地域づくり」(丹波の森づくり)を推進するために、地域づくり等に関する調査研究・提言とともに、市・県との連携を図り、地域課題解決のため、地域とともに考える地域伴走型支援を行う。	<p>○「アクションプラン」づくり 令和5年度の重点的な取り組みとして、「丹波の森」を考える小委員会や市・県との連携会議をコーディネートし、アクションプラン等の作成を行った。 (検討会) 理事会2回 県市検討会3回 小委員会2回 協会検討会 随時実施</p> <p>○市・県との連携 市とともに調査研究のあり方を検討し、政策部門のみならず、調査研究に係る部門と今以上に連携を深め、情報収集をし、情報と課題を共有する中心的な役割を担うとともに、今後の研究テーマを検討した。</p> <p>○地域伴走型シンクタンク活動の強化 市・県との連携を図るとともに、地域活性化や地域固有の課題についても地域住民とともに考え、課題解決に向けた支援を行った。また地区のまちづくり協議会等との連携協働を諮り、課題解決に向けた支援を行った。</p> <p>○生物多様性の保全創生 丹波地域の自然・生活・文化の継承と再生を図るための重要な基盤となる生物多様性について、丹波の森公苑の里山エリア等を中心に保全創生に関わる実践的な取り組みを行った。</p> <p>○連携による研究所のサポート体制の強化 人と自然の博物館や森林動物研究センターなどの研究機関との連携強化、市民・企業・大学からの研究員参加など研究所のサポート体制の多角化・強化を図った。</p>	4,729,000	4,572,182
	エ 地域づくり支援事業				
	・ 地域づくり支援事業 (協会事務局)	活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	<p>○アドバイザー派遣</p> <p>①丹波篠山市河原町地区「河原町通り無電柱化記念鉦復活実行委員会」におけるアドバイザー業務(令和4年度からの継続) ・第2回目の鉦復活巡行を「全国伝統的建造物群保存地区協議会丹波篠山市大会」において、お披露目するための事業計画作成や補助金等申請についての助言 ・目標達成に必要な助言 ・鉦復活披露時の演出等についての助言 ・実施日:4/22、5/13、5/23</p> <p>②丹波市「谷上自治会」におけるアドバイザー業務 ・ほたるが飛び交う美しい村を作るために区民が心がけなければならないこと、クリーン作戦の時期についての助言 ・実施日:9/1</p> <p>③福住地区の移住戦略会議におけるアドバイザー業務 ・特定地域づくり事業協同組合、事業共創パートナー、各種施設の改修工事、アートプロジェクトなどの取り組みに対するアドバイザー ・実施日:5/10、7/11、9/13、11/22、1/24、3/13</p> <p>④「瓶害峠活性化プロジェクト推進連絡会」におけるアドバイザー業務 ・プロジェクトの内容について、国領地区、大山地区、両地区の連携体制の必要性と全体コンセプトの明確化、活動目標と検討が</p>	871,000	724,331

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			イントについてアドバイス ・実施日：9/9、10/13、2/9		
	・花と緑の地域づくり事業 (協会事務局)	美しい地域づくりの実現に向けて、丹波地域の住民の花と緑に関する意識の向上及び花と緑の地域づくり活動を一層推進するため、丹波の森公苑などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する。 また、個人の庭を広く一般に公開する社会活動として、「オープンガーデン」が開催される。花を愛する人が花を通してつながり、「人がつながる」「花がつながる」。そして交流が始まるという趣旨に賛同し、オープンガーデンに参加する。	○たんばオープンガーデンへの参加 ・開催日：4月23日(日)、5月21日(日) ・場所：丹波の森公苑、丹波並木道中央公園 ・主催：丹波の森花くらぶ ○丹波の森ミニガーデンの開催 ・展示期間：10月7日(土)～11月5日(日) ・開催場所：丹波の森公苑、丹波並木道中央公園、丹波年輪の里(3か所、6枠) ・参加団体：丹波の森花くらぶ、丹波市商工会女性部有志、更正保護女性会、篠山産業高校、篠山東雲高校、氷上高校	489,000	485,895
	・丹波の里山づくり発信事業 (協会事務局) 【丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託】	丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宣言」を採択し、地域全体を一つの森として捉え、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいくための取り組みを県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働して推進する。	○丹波の里山づくり支援(丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援事業) ・丹波の里山づくりモデル6団体にアドバイザーを設置、活動団体を支援した。 (1)下三井自治会(丹波市) (2)平松区森林愛好会(丹波市) (3)八幡共有山組合(丹波篠山市) (4)岩崎自治会(丹波篠山市) (5)ふるさと和田里山づくり協会(丹波市) (6)国領自治協議会(丹波市) ・里山づくりアドバイザー会議を定期開催 開催日：8月9日(水)、11月1日(水)、令和6年1月30日(火)、3月14日(木) 開催場所：丹波の森公苑セミナー室、会議室3 出席者：里山づくりアドバイザー、丹波篠山市、丹波市、丹波の森研究所、協会事務局、丹波の里山づくり実行委員会事務局(丹波農林事務所)	2,100,000	1,725,000
	オ 花づくり活動支援事業 (丹波の森公苑)	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	○花と緑の教室(基礎講座) ・内容：草花等の育成知識習得、寄せ植え実習 ・受講者数：54人/募集60人 ・受講料：16,000円 ・講師：県立フリースターから派遣 ・実施期間：5月～令和6年3月(年6回) ○花と緑の教室(自主活動グループ) ・内容：花と緑の教室を受講し、知識・技術を習得した者をリガーとして、花の魅力を伝える花と緑の教室を地域単位で開催 ・グループ数等：5グループ・21人 ・受講料：13,600円 ・講師：花と緑の教室を受講した者 ・実施期間：5月～令和6年3月(年6回) ○園芸教室(応用創作講座) ・内容：創作寄せ植えを中心とした知識修得、実習 ・受講者数：31人/募集30人 ・受講料：7,000円(材料費等別) ・講師：ひょうごガーデンマイスター認定 田丸和美 ・実施期間：5月～令和6年3月(年7回)	1,361,000	1,357,200
	カ 丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公苑)	地域住民をはじめ、各種団体や企業、丹波篠山市・丹波市など丹波の森づくり団体の交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	「森とふれあおう! ゆったり満喫! 丹波の森公苑」をテーマに、体験事業やワークショップ等を開催した。また、「ひょうごSDGs WEEK」事業の一環として森フェスを位置づけるとともに、「丹波の森構想」の啓発を行った。	751,000	749,306

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：10月29日(日) ・ワークショップ等 12ブース ・活動団体の作品展示等 14団体 ・特設ステージ(6団体出演、「丹波のもりびと賞」表彰式、「オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト」表彰式) ・来場者数：2,500人 		
キ	丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里)	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、県民のスポーツ、レクリエーションの活動をさらに促進するため、課題や現状を踏まえ、各種の事業を見直しつつ、実施する。	<p>地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えるとともに、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。</p> <p>○工作室における木工クラフトの指導(通年) 団体 34団体 1,085人 個人 2,568人</p> <p>○ゴールデンウィークフェスタ 開催期間：4月29日(土・祝) ～5月5日(金・祝)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子工作教室 ・丹波ウッドワーカーズクラフト ・座っ展2023-丹波で座る木の椅子 ・アトリエ作品展 ・フリーマーケット、竹とんぼ教室、ツリーイング教室 <p>○平日グラウンドゴルフ 営業日：143日 参加者数：2,417人</p> <p>○第7回「心を届ける たんば絵てがみコンクール」 テーマ「想い」 募集期間：9月1日(金)～12月28日(木) 応募総数：633人から736点 展示期間： ① 令和6年2月3日(土)～18日(日) ② 令和6年3月7日(木)～27日(水) 展示場所： ① 丹波年輪の里木の館 ② 兵庫県中央労働センター</p> <p>○林産指導事業 木を暮らしに取り入れるための普及(通年) ・webサイトからの木材に関する情報提供 ・木木市(春、秋) 丹波市内の製材所や木工所と協力し、DIY向けの木材・端材を廉価で販売 開催日：5月20日(土) 11月25日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材業界や一般県民の木材に関する木材利用相談などに応じている。 <p>○木育活動 ・丹波市の認定こども園、小学校を対象とした木製玩具づくりワークショップを実施した。(5箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの幼児に木製玩具を体験してもらうために、丹波市をはじめ阪神間の認定こども園や保育園等に玩具の貸出しを実施した。(1施設1週間35箇所) ・子どもたちに木のぬくもりを感じってもらうため、市内在住の木工作家が製作したビー玉を使った木のおもちゃを配置した。 利用者数：11,372人 <p>○関連施設とのコラボ商品の開発 新たな取り組みとして、道の駅丹波おぼあちゃんの里で8月19日(土)～11月5日(日)まで、チラシ配布と年輪をイメージしたバームクーヘンのラスク付きコラボジェラートを販売し、観光地の回遊による誘客増加の試みを行った。約2ヶ月半で約700個を販売し、併せて年輪の里のイベント告知も行った。</p>	3,529,000	3,328,282

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ク 丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園)	<p>「県立丹波並木道中央公園」は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。</p> <p>また、令和3年度に、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。</p>	<p>【活力あふれる地域づくりに資する公園】</p> <p><第10回丹波なみきみちまつり「収穫祭」2023></p> <p>開催日：10月1日(日) 参加者数：8,892人</p> <p><棚田の赤米を活用したイベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植え体験(一般) 開催日：5月28日(日) 募集定員：20人程度 参加者数：22人 ・田植え体験(認定こども園) 開催日：5月23日(火) 募集定員：なし 参加者数：45人 ・かかし立て(認定こども園) 開催日：9月5日(火) 募集定員：なし 参加者数：54人 ・稲刈り体験(認定こども園) 開催日：10月23日(月) 募集定員：なし 参加者数：46人 ・稲刈り体験(一般) 開催日：10月29日(日) 募集定員：20人程度 参加者数：23人 <p><丹波茶・日本茶のイベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新茶の飲み比べ(茶まつり連携) 開催日：6月3日(土) 募集定員：20人 参加者数：21人 ・和紅茶づくり 開催日：7月30日(日) 募集定員：10人 参加者数：10人 ・ペーパークラフトワークショップと和紅茶 開催日：9月24日(日) 募集定員：10人 参加者数：9人 ・寒茶づくり体験 開催日：令和6年2月4日(日) 募集定員：10人、参加者数：9人 <p><黒枝豆収穫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒枝豆の収穫体験 開催日：10月15日(日) 募集定員：20人 参加者数：19人 <p><ギャラリーかやぶき民家></p> <ul style="list-style-type: none"> ・並木道水彩画倶楽部展覧会 開催日：5月3日(水)～8日(月・祝) 入場者数：664人 <p><ノルディックウォーキング></p> <p>実施期間：毎月第3日曜日実施 実施回数：12回 参加者数：計91人</p> <p><心とからだの癒し講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の実の宝箱づくり(園芸療法) 開催日：4月11日(火) 募集定員：10人 参加者数：4人 ・梅雨のガラス絵(臨床美術) 開催日：5月9日(火) 募集定員：10人 参加者数：4人 ・ハーブ入りバスソルト(アロマヒーリング) 開催日：6月13日(火) 募集定員：10人 参加者数：5人 <p><各種駅伝競走大会>開催支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波篠山市・丹波市中学生駅伝競走大会 開催日：10月18日(金) 参加者数：225名 ・丹波地区駅伝競走大会 開催日：10月25日(金) 参加者数：228名 ・三駅伝大会(丹波篠山市教育委員会主催) 開催日：11月4日(土) 	3,945,000	3,923,321

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			参加者数：110名 【子育てに資する公園】 <間伐材を使った遊具等の製作・更新> 4月 クイズラリー看板製作 4月 園内距離表示看板製作 5月 なみきみちグッズ (木のガーランド) 製作 5月 棚田の渡し板設置 6月 遊具ハウス屋根修繕 5～6月 園内ベンチ修繕 7月 園内距離表示看板製作 8月 園内ベンチ製作 8～9月 園内ベンチ修繕 9月 床几台製作(3台) 10～12月 あずまや屋根修理(3棟) 1月 駐輪場看板製作 <プールあそび> 7月～8月の平日、2グループ 参加費：1人100円 利用者数：0人 <そうめん流し> 7月～8月の平日、2グループ 参加費：1グループ1,500円 利用者数：6人 <無料ぬりえ・管理棟おもちゃコーナー> 通年実施 室内木製遊具の設置 <そり貸出> 1月～2月に実施(貸し出しは無料) 利用者数：0人 <作って遊ぼう凧づくり> 開催日：令和6年1月7日(日) 参加者数：17人 <なみきみちわくわくフェスティバル> 実施期間：5月3日(水・祝)～31日(火) 参加者数：計814人 【環境との共生に資する公園】 <大人の木工教室> 実施期間：6月より再開、 毎月第1・第3土曜日 募集定員：各回4人 参加者数：計28人 <なみきみちクラフト> 実施期間：年に数回、土曜日開催 開催日：6月4日、7月30日、8月6日、 9月10日、11月5日 令和6年3月3日 募集定員：各回12人 参加者数：計24人 <花と緑の教室> フラワーセンターとの連携事業 実施期間：年8回 募集定員：24人(12人×2回) ・(第1回)夏の草花の寄せ植えと管理法 開催日：5月19日(金) 参加者数：25人 ・(第2回)夏の花木を使った寄せ植えと 管理法 開催日：6月16日(金) 参加者数：22人 ・(第3回)観葉植物を使った寄せ植えと 管理法 開催日：7月21日(金) 参加者数：18人 ・(第4回)秋の苔玉づくりと管理法 開催日：9月15日(金) 参加者数：12人 ・(第5回)秋の草花の寄せ植えと管理法 開催日：10月20日(金) 参加者数：19人		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<ul style="list-style-type: none"> ・(第6回) ポインセチアを使った寄せ植えと管理法 開催日: 11月24日(金) 参加者数: 17人 ・(第7回) 正月を飾る寄せ植えと管理法 開催日: 12月15日(金) 参加者数: 21人 ・(第8回) 早春の草花の寄せ植えと管理法 開催日: 令和6年2月16日(金) 参加者数: 17人 ・(第9回) 春の草花の寄せ植えと管理法 開催日: 令和6年3月15日(金) 参加者数: 24人 <p><たんばオープンガーデンへの参加> 開催日: 4月23日(日)~24日(月) 5月21日(日)~22日(月)</p> <p><多肉の寄せ植え体験> 開催日: 5月7日(日) 募集人数: 12人 参加者数: 8人</p> <p><しめ縄づくり> 開催日: 12月10日(日) 参加者数: 14人</p> <p><トライやるウィーク> 受入期間: 6月5日(月)~9日(金) 市内中学校生徒4人受入</p> <p>【持続可能なパークマネジメントの推進】</p> <p><その他他団体との大規模イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第13回なみきみちマルシェ 開催日: 9月3日(日) 参加者数: 5,680人 ・第14回なみきみちマルシェ 開催日: 令和6年3月17日(日) 参加者数: 3,676人 <p><木材供給システム> 兵庫丹波の森協会・園芸公園協会が管理する施設等と調整しながら間伐材の提供など実施</p> <p><化石発掘体験会(丹波篠山市教育委員会)> 開催日: 5月13日(土)、7月29日(土)、8月5日(土) 募集人員: 各回10人 参加者数: 計27人</p> <p><PARK LIFE> 広報紙「PARK LIFE」を年に4回配布。公園の旬のトピックスを表紙に取り上げる。</p> <p><ホームページやSNSの更新> ホームページ、Facebook、Instagram、SNSを活用。</p> <p><持込企画の実施と調整></p> <p>【実施済みの団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並木道絵画倶楽部(展覧会、石ころアート) ・日本茶を楽しむ会「Tan-te」(日本茶イベント) ・楽々美香草(心とからだの癒し講座) <p>【特色ある提案】</p> <p><なみきみちデイキャンプ> 開催日: 9月23日(土)、10月28日(土)、11月26日(日) 令和6年3月24日(日) 参加者数: 39人</p>		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進	ア 丹波地域生物多様性保全事業 (協会事務局)	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。	○丹波の森公園の自然環境調査 ・昆虫を中心とした調査スタッフの育成 昨年度に開催し、養成した子どもたちをスタッフとし、里山の昆虫を調査することにより、生物多様性の方向性を探ることを目的に、その調査スタッフを新たに養成するため、兵庫県立人と自然の博物館の協力のもとにプログラムを開始する。 ・故河合雅雄先生の少年時代のように、網と虫かごを持って森に入り、生態系や食物連鎖を目の当たりにすることにより、自然と生き物が共生しているシステム＝生物の多様性を身近に感じ、知る。 ① 昆虫リーダー育成研修会 開催日：①7月15日(土) ②8月26日(土) 開催場所：丹波の森公園 対象者：子ども(小学4年生以上)と保護者(丹波篠山市・丹波市) 定員：40名 参加者数：①28人 ②24人 内容：「今日の虫ずかん」を作る、「いどうこんちゅうかん」のスタッフ体験 ② いどうこんちゅうかん 開催日時：9月16日(土) ～18日(月・祝) 10時～15時(1時間ごとの入替制) 場所：丹波の森公園 展示ギャラリースペース 対象者：幼児、小学生低学年 定員：各日100名 参加者数：計361名 参加費：200円 講師：兵庫県立人と自然の博物館 八木 剛氏 NPO法人こどもとむしの会スタッフ 内容：「おっきな虫かご」「むしむしテーブル」「ぬりえコーナー」 昆虫リーダー受講生はスタッフ体験 ※昆虫リーダー受講生スタッフ参加者数 子ども13人、保護者13人 計26人	340,000	334,046
	イ 丹波の森公園里山事業 (丹波の森公園)	丹波の森公園の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。 また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。	○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業 ・森づくり講座の開設 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公園里山を拠点とした研修及び相談事業の実施。 【講座】 (間伐材活用編) 日程：4月～9月(5回開催) 受講者数：6人 参加費：2,000円 場所：丹波の森公園 (間伐編) 日程：10月～令和6年2月(6回開催) 受講者数：6人 参加費：2,000円 場所：丹波の森公園 【相談】※令和3年度から開始 日程：随時 相談件数：110件 293人 ・里山及び環境学習体験フィールドの整備	780,000	777,014

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>森づくり講座受講生等を中心とした自主活動グループ「里山倶楽部 (H15 創設、会員数 20 人)」及び「里山整備サポーター (H30 創設、会員数 22 人)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、遊歩道整備、草刈り、生き物飼育場の整備を行う。</p> <p>○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり オオムラサキの飼育展示を行うとともに、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験飼育展示 ・小学校等、地域での飼育指導 (18 小学校、2 高校、8 事業所等) ・第 14 回記念放蝶会 日時：7 月 2 日 (日) 場所：丹波の森公苑芝生広場 参加者数：251 人 放蝶数：101 頭 ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト 対象：小学生 募集期間：8 月 1 日 (火)～9 月 29 日 (金) 応募総数：240 点 作品展： ①丹波ゆめタウン会場 11 月 1 日 (水)～12 日 (日) ②兵庫陶芸美術館会場 令和 6 年 1 月 20 日 (土)～30 日 (火) ③丹波の森公苑会場 令和 6 年 2 月 10 日 (土)～22 日 (木) 		
	ウ 丹波の森公苑環境学習推進事業 (丹波の森公苑)	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<p>○子ども対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波縄文の森塾の開催 開催期間：5 月～令和 6 年 3 月 参加料：7,000 円 塾生：30 人/募集 30 人 (小 3～6) 内容：里山探索、生きもの観察、縄文土器づくり、ツリーイング、稲刈りなど ○リーダー養成プログラム 自然体験活動サポーター設置 (23 名) サポーター：高校・社会人 内容：自然体験活動のノウハウの取得、縄文の森塾の運営支援 ○環境学習支援プログラム ①親子・家族対象プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・春の里山ふれあいハイキング 開催日：4 月 29 日 (土) 参加者数：36 人 (定員 40 人) ※丹波の森公苑リニューアル記念事業として実施 ・秋の里山ふれあいハイキング 開催日：10 月 29 日 (日) 参加者数：3 人 (定員 30 人) ※丹波の森フェスティバルにおいて実施 ・丹波いきもの大集合 開催日：7 月 8 日 (土) 会場：丹波ゆめタウン 参加者数：650 人 ②幼児・小学生対象プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・里山の秋の実り体験 開催期間：9 月 20 日 (木)～11 月 15 日 (水) 参加者数：795 人 (19 施設) 参加者：小学生、認定こども園園児 ・出前講座の実施 オムラサキ等関係 29 回、水性生物関係 6 回 ・国蝶オオムラサキ越冬幼虫探し 日時：令和 6 年 3 月 3 日 (日) 参加者数：55 人 	1,312,000	1,222,268

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	縄文の森ユース躍動プロジェクト事業 (協会事務局)	丹波2050地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんばユース躍動プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。	○縄文の森ユース躍動プロジェクト ・兵庫丹波の森協会では、「丹波の森づくり」の一環として「縄文の森塾」が小学生を対象として継続して開催している。 ・近年では、生物多様性保全と農林業活性化のために、丹波の森の再生が大きな課題となっている。また、それに関わる人材育成も必要となっている。 ・そこで、「縄文の森塾」のアドバンスコースとして、次代を担う高校生や大学生などを対象とした「縄文の森ユース躍動プロジェクト」を推進することになった。 ○今年度のテーマ:「丹波の森の恵みと再生のあり方を学ぼう!!」 ・期間:6月~12月 ・対象者:中学、高校、大学、社会人など ・実施場所:丹波の森公苑 ・参加者数:計95名 ・講座数:10講座 ・植物の生態を学ぶ:6/18(日)「森の成り立ちと植物の見分け方」、10/15(日)「シカの食害による植生の変化を理解する」など ・動物の生態を学ぶ:8/4(金)「野生動物の生息状況の調査方法」、10/7(土)「丹波の森公苑の昆虫相の大捜査」、11/4(土)「センサーカメラの回収と設置場所周辺の動物の痕跡の記録」など ・食の恵みを体感する:8/19(土)「シカ問題を『食べる』から考える」、9/16(土)「野生動物の捕獲と食資源化について」、10/21(土)「林内散策と秋の森を食べる」 ・生活環境への恵みを学ぶ:7/1(土)「森が有する現代的役割を考える」、12/16(土)「丹波の森の目標(STGs)の提案」など	2,037,000	2,030,443
	エ ささやまの森公園事業 (ささやまの森公園)	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	○基本プログラム ・里山体験班:草木で染めよう、布ぞうりを作ろう、マイ箸を作ろう等 プログラム回数:25回 参加者数:171人(定員204人) ・里山伝承班:黒豆を栽培しよう、そば道場入門、ちまきを作ろう等 プログラム回数:20回 参加者数:196人(定員225人) ・自然学習班:バードウォッチング、3種類のホタルを観よう、秋の花と実を楽しもう等 プログラム回数:13回 参加者数:116人(定員195人) ・レクリエーション班:登山、ツリーイング、アマゴつかみ等 プログラム回数:17回 参加者数:159人(定員214人) ・里山復元班:稲作体験、親子で薪割り体験、チェーンソー安全教室等 プログラム回数:14回 参加者数:166人(定員198人) ○団体プログラム ・団体利用:自然観察、ウッドクラフト森のようちえん等 参加者数:22団体、588人 ・篠山東雲高校「里山文化」(第8回) 間伐体験、ちまき作り、野草茶作り、シカ肉料理、黒豆味噌作り等 参加者数:生徒4人(19回/年) ○特別プログラム ・里山の日特別企画 ①バードウォッチング 開催日:4月29日(土・祝) 参加者数:9人	7,356,000	7,342,131

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<ul style="list-style-type: none"> ②春の野草観察 開催日：5月20日(土) 参加者数：7人 ・春の特別企画 ①ウォークラリー 開催日：5月3日(水・祝) ～4日(木・祝) 参加者数：27人 ②窯でピザ焼き 開催日：5月3日(水・祝) 参加者数：15人 ③コケテラリウム作り 開催日：5月4日(木・祝) 参加者数：27人 ・樋口清一氏講演会 開催日：10月1日(日) 参加者数：102名 場所：ささやまの森公園 森の道場 ・秋の里山まつり 開催日：11月12日(日) 参加者数：約500名 ○森の学校(第16期生) 動植物の観察、飯盒炊さん、森の木を切る体験、冬の生きもの探し等 募集定員：15人(小学3年～6年生) 参加者数：14人(11回/年) 		
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	178,549,000	176,615,636

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額																																																																		
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む) (丹波の森公苑)	丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動コーナーの提供 情報発信のための印刷機の提供 生活創造活動支援のための相談・助言 生活創造活動グループサポート事業による森公苑内でのイベント等への支援 実施回数 21回 参加者 475名	184,000	180,698																																																																		
		消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活出前講座の実施(13回実施) 参加者数 337名 消費生活にゆーすの発行(4回発行) 丹波新聞へ「消費者クイズ」記事提供(月1回、不定期掲載) ロビーに啓発チラシ配架、掲示(13回実施) 参加者数 340名 ○消費生活にゆーすの発行(4回発行)																																																																				
イ	生活創造活動施設貸し館業務 (丹波の森公苑)	県民の生活創造活動のために施設を貸与する。	利用者数(貸し館に係るもの) (単位:人) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施設</td> <td>ホール、里山スクエア</td> <td>29,685</td> <td>10,225</td> <td>14,477</td> <td>2,813</td> <td>24,496</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>28,510</td> <td>13,939</td> <td>19,466</td> <td>26,620</td> <td>25,586</td> </tr> <tr> <td>テニスコート等</td> <td>23,193</td> <td>13,892</td> <td>16,700</td> <td>15,783</td> <td>20,338</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>81,388</td> <td>38,056</td> <td>50,643</td> <td>45,216</td> <td>70,420</td> </tr> </tbody> </table> 施設使用料収入 (単位:円) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施設</td> <td>ホール、里山スクエア</td> <td>4,257,050</td> <td>2,366,500</td> <td>2,807,150</td> <td>461,000</td> <td>3,572,850</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>2,297,000</td> <td>1,714,900</td> <td>2,077,200</td> <td>2,496,500</td> <td>2,504,450</td> </tr> <tr> <td>テニスコート等</td> <td>3,501,900</td> <td>2,486,900</td> <td>3,082,500</td> <td>2,288,950</td> <td>3,564,275</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>10,055,950</td> <td>6,568,300</td> <td>7,966,850</td> <td>5,246,450</td> <td>9,641,575</td> </tr> </tbody> </table> R2. 4. 8～5. 17 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(40日間) R3. 4. 25～5. 11 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(17日間) R4. 2. 1～R5. 2. 25 ホール天井耐震改修工事のためホール休館 R4. 4. 1～R5. 5. 20 計画修繕工事のためアトリエ棟休館 R4. 9. 13～R5. 2. 25 計画修繕工事のため練習室・楽屋A B使用中 R4. 11. 15～R5. 3. 17 改修工事のためテニスコート使用中 R5. 3. 1～ ホール使用再開 R5. 5. 23～ 里山スクエア(コワーキングスタジオ・キッチンスタジオ)利用開始 R6. 1. 10～2. 25 ホール棟空調設備修繕工事のためホール休館 R6. 2. 26～ ホール使用再開			R1	R2	R3	R4	R5	施設	ホール、里山スクエア	29,685	10,225	14,477	2,813	24,496	研修棟	28,510	13,939	19,466	26,620	25,586	テニスコート等	23,193	13,892	16,700	15,783	20,338	計		81,388	38,056	50,643	45,216	70,420			R1	R2	R3	R4	R5	施設	ホール、里山スクエア	4,257,050	2,366,500	2,807,150	461,000	3,572,850	研修棟	2,297,000	1,714,900	2,077,200	2,496,500	2,504,450	テニスコート等	3,501,900	2,486,900	3,082,500	2,288,950	3,564,275	計		10,055,950	6,568,300	7,966,850	5,246,450	9,641,575		
		R1	R2	R3	R4	R5																																																																	
施設	ホール、里山スクエア	29,685	10,225	14,477	2,813	24,496																																																																	
	研修棟	28,510	13,939	19,466	26,620	25,586																																																																	
	テニスコート等	23,193	13,892	16,700	15,783	20,338																																																																	
計		81,388	38,056	50,643	45,216	70,420																																																																	
		R1	R2	R3	R4	R5																																																																	
施設	ホール、里山スクエア	4,257,050	2,366,500	2,807,150	461,000	3,572,850																																																																	
	研修棟	2,297,000	1,714,900	2,077,200	2,496,500	2,504,450																																																																	
	テニスコート等	3,501,900	2,486,900	3,082,500	2,288,950	3,564,275																																																																	
計		10,055,950	6,568,300	7,966,850	5,246,450	9,641,575																																																																	
		令和3～4年度のホール耐震化、各施設の修繕、アトリエ棟・テニスコートの改修など、大規模な改修工事完了の機を捉え、今後のさらなる利用促進に向けたリニューアルオープン記念事業を実施する。	○リニューアルオープン記念式典 <ul style="list-style-type: none"> 開催日: 5月21日(日) 内容: ① オープニングセレモニー 中庭芝生広場で柏原高校吹奏楽部ウェルカム演奏、テープカット ② トークセッション(テーマ:丹波の魅力と強み・その先へ) コワーキングスタジオにおいて、丹波地域で活躍中の起業家等によるトークセッション ③ 里山スクエア内覧会 キッチンスタジオで調理実習 ○丹波の森公苑リニューアル記念コンサート「みやけん ONE MAN CONCERT in 丹波」 <ul style="list-style-type: none"> 開催日: 7月9日(日) 場所: 丹波の森公苑ホール 入場者数: 380人 入場料: 一般3,000円、高校生以下1,000円、車いす席2,500円(全席自由) 出演者: みやけん氏(YouTuber) 丹波篠山少年合唱団 丹波市少年合唱団 	3,494,000	3,489,865																																																																		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ウ スポーツ大会・文化教室の開催 (丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、グラウンドゴルフ大会の開催や丹波地域の団体のイベントを支援する。また、工作室を利用する木工特別教室、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	<p>○特別工作教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集講座 (年/1回～6回コース) 募集講座数: 25 講座 募集定員: 435 人 参加者数: 419 人 ・定期講座 work shop (年/48 回) 参加者数: 465 人 焼きペン教室 (年/24 回) 参加者数: 136 人 <p>○グラウンドゴルフ大会(年4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集定員: 192 人 (第1回) 開催日: 6月6日(火) 参加者数: 148 人 (第2回) 開催日: 9月5日(火) 参加者数: 128 人 (第3回) 開催日: 12月5日(火) 参加者数: 155 人 (第4回) 開催日: 3月5日(火) 中止 <p>○緑の中のコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑いっぱい自然あふれる苑内で、音楽を通して癒やしと安らぎのひとときを創設した。 ・県立氷上高等学校吹奏学部、氷上西高等学校ギター部他5組のコンサート 開催日: 11月3日(金)～4日(土) 場 所: 丹波年輪の里 木の館ホール 約400 人 ・ブルー・ベンチャーズクリスマスコンサート 開催日: 12月17日(土) 場 所: 丹波年輪の里 木の館ホール 120 人 <p>○ティラノサウルスレース in 丹波竜の里</p> <ul style="list-style-type: none"> 丹波竜化石が発見されたまちをアピールするため、芝生広場を活用してティラノサウルスレースを開催した。また、丹波三宝はじめとする飲食ブースを等出店し、“秋の丹波”を満喫いただいた。 開催日: 10月15日(日) 参加者数: 144 人 (東は千葉、西は広島等13 都府県から参加) 来場者数: 約3,000 人 	2,624,000	2,475,432
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設 (丹波の森公苑)	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	<p>○丹波OB大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習年限: 4年 ・募集定員: 60 人程度 ・受講者数: 116 人(1年34人、2年39人、3年26人、4年17人) ・講座内容: 教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催期間: 4月19日(水) ～令和6年3月6日(水) 全18 回 ・受講料: 12,500 円 	1,843,000	1,807,550
	イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設 (丹波の森公苑)		<p>○丹波OB大学大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習年限: 2年 ・募集定員: 各学年30 人 ・受講者数: 21 人(1年0人、2年21人) ・講座内容: 基礎・応用講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催期間: 4月19日(水) ～令和6年3月6日(水) 全18 回 ・受講料: 12,500 円 <p>※大学院は令和5年度をもって廃止した。(全県的に廃止)</p>		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	ウ 講座「丹波学」の開設 (丹波の森公苑)	多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供する。	・テーマ:「丹波武将と徳川家康 ～その時、家康は丹波に何をみたのか～」 ・開催期間:8月26日(土)～12月2日(土) 全5回 ・場 所:丹波の森公苑ホール ・募集定員:150人 ・受講者数:147人 ・講 師:渡邊大門氏((株)歴史と文化の研究所代表取締役)ほか ・受講料:6,000円	882,000	882,000
	エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催 【丹波の森公苑】	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、芸能発表や創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	○丹波地域学ぶ高齢者のつどい ・開催日:9月21日(木)、22日(金) ・場 所:丹波の森公苑ホール、多目的ルーム ・参加者数:683人(丹波地域内の高齢者大学受講生など) ・内 容:作品展(出品数136点 書、工芸、手芸、日本画、写真、洋画、彫刻、短歌・俳句・川柳) 芸能発表(発表12団体) 箏、歌謡、オカリナ、詩吟、太極拳、合唱等	182,000	180,630
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク等受入 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	○中・高校生にふさわしい体験プログラムの開発を行う。 ・トライやる・ウィーク(中学生) 【丹波の森公苑】 期間:6月6日(火)～10日(土) 受入生徒数:3人 【丹波年輪の里】 期間:6月6日(火)～8日(木) 受入生徒数:3人 【ささやまの森公園】 ①期間:6月6日(火)～10日(土) 受入生徒数:4人 ②期間:6月13日(火)～17日(土) 受入生徒数:1人 【丹波並木道中央公園】 期間:6月5日(月)～9日(金) 受入生徒数:4人 ・インターンシップ 【丹波の森公苑】 期間:11月7日(火)～10日(金) 受入生徒:篠山産業高校 1人	8,000	7,370
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催 (丹波の森公苑)	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図る。	○レッスン ・開催期間:7月23日(日)～10月14日(土) 全16回 ・場 所:丹波の森公苑 多目的ルームほか ・対 象 者:小・中・高校生 ・募集定員:40人 ・参加者数:50人 ・指 導:劇団ウエスト ・参加費:6,000円 ○発表公演 輝けドリーム～もうひとつのピーターパン～ ・開催日:10月15日(日)2回公演 ・場 所:丹波の森公苑ホール ・入場者数:656人 ・入 場 料:大人1,000円、高校生以下無料	1,748,000	1,748,000
	ウ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りべクラブの活動支援 (協会事務局)	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○小学校のクラブ活動の支援 実施場所:丹波市立大路小学校 内容:語りべクラブのメンバーが「むかし話クラブ」の活動支援を行う。 ○紙芝居等の作成及び修復助成金 2件	89,000	47,217
(4) 公2 共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	157,637,000	157,950,177

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 舞台芸術鑑賞機 会の提供	ア 丹波の森国際音 楽祭シューベルテ ィアーデたんばの 開催 【丹波の森国際音楽祭 シューベルティアー デたんば実行委員会】 (主催：実行委員会 事務局を担当し、負 担金を支出)	国内外からアーティストを招聴し、地 域交流・国際交流の輪を広げるコンサ ートを開催する。 ・シューベルトの音楽を楽しみ交流を深 める「オープニング・サロンコンサ ート」「ガラ・コンサート」を開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街 角コンサートの実施 ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援 学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽 ひろば」、「キン・コン・カン・コン サート」の実施等	○テーマ「シューベルトがつなぐウィーンと丹 波」 ・開催期間：9月9日(土)～11月12日(日) ○オープニング・サロンコンサート ・開催日：9月9日(土) 2回公演 ・会場：お菓子の里丹波ホール ・入場者数：167人 ・入場料：大人2,500円(当日3,000円) ○ガラ・コンサート ・開催日：11月12日(日) ・会場：丹波の森公園ホール ・入場者数：276人 ・入場料：大人2,500円(当日3,000円)、 高校生1,000円(当日1,500円)、 中学生以下無料 ○街角コンサート(丹波地域2市10会場) ・入場者数：755人 ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校) ・参加者数：1,629人 ○キン・コン・カン・コンサート(中学校1校、 高等学校1校) ・参加者数：271人 ○吹奏楽部のための出前講座(青垣中学校、篠 山産業高校) ○音楽系部活動サポートプロジェクト(篠山鳳 鳴高校)	1,228,000	1,227,405
	イ 丹波の森公園ホ ール等自主事業 (丹波の森公園)	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮 らしを創造するため、県民に優れた芸術 を鑑賞する機会を提供する。	○スーパーキッズ・オーケストラ クリスマスコ ンサート ・開催日：12月23日(土) 2回公演 ・会場：丹波の森公園ホール ・入場料：大人1,500円(当日2,000) 高校生以下：無料 ・入場者数：357人	1,439,000	1,438,714
(2) 芸術文 化活動の 振興	ア アートクラフト フェスティバル in たんばの開催 (丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向 上、創作活動を普及させるため、全国 各地で活動するクラフトマンが一堂に 集い、芝生広場など苑内での自由な作品 展示、来演者との交流を行う。	アートクラフトフェスティバル in たんば 2023 ・開催日：11月3日(金)～4日(土) ・会場：丹波年輪の里 ・出店者数：167人 ・入場者数：約25,000人	400,000	400,000
	イ 丹波の森ウッド クラフト展(木のお もちゃ展)の開催 (丹波年輪の里)	「人に優しい木を素材とし、遊び心を 大切にしながら、自分の手で創造の喜び を作り出す」をテーマに木工クラフト普 及を目的に全国公募展を開催する。	第35回丹波の森ウッドクラフト展(木のおもち ゃ展) ○一般の部 ・出展数：62人、73点 (うちテーマ23点、親子で遊べる木の おもちゃ部門16点) ・展示期間：9月9日(土)～24日(日) ・場所：丹波年輪の里木の館ホール ・入場者数：877人 ○ジュニアの部(高校生以下) ・出展数：123人、111点 ・展示期間：10月14日(土)～29日(日) ・入場者数：1,017人 ・出展校等：小学校12校、中学校3校、高校5 校 計20校、個人出展7点	900,000	900,000
	ウ 丹波の森アート フェスティバルの 開催 (丹波の森公園)	広く美術家、美術愛好家に創作活動の 発表の場を提供するとともに、県民や県 内芸術家との交流を図る。	○丹波の森新春書き初め展 ・開催期間： ① 令和6年1月24日(水)～28日(日) ② 令和6年2月3日(土)～9日(金) ・場所： ① 丹波の森公園多目的ルーム他 ② 四季の森生涯学習センター東館 ・来場者数：①1,612人 ②339人 ・出品数：675点 ○兵庫県文化賞受賞者小品展 ・開催期間：11月2日(木)～5日(日) ・場所：丹波の森公園多目的ルーム ・来場者数：90人 出品者数：30人	120,000	120,000

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	エ 展示ギャラリーの開設 (丹波の森公苑)	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	利用件数：31回(書道展、絵画展、写真展など)	10,000	10,000
	オ 伝統文化活性化支援事業 (丹波の森公苑)	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・日 程：5月20日(土) ・内 容：第12回丹波の森童謡唱歌の祭典の民俗芸能特別鑑賞部門に京都雅楽座丹波校が出演 ・場 所：丹波の森公苑ホール ○子どもたちのための和楽器鑑賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・開催期間：9月～令和6年1月 ・場所：丹波管内の小学校10校 ・参加者数：289人	180,000	177,882
	カ 座っ展-丹波で坐る木の椅子 (丹波年輪の里)	丹波地域に木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。「座る・触る」ことにより、作品のすばらしさを体験することができる。	「座っ展2023-丹波で坐る木の椅子-」 ・開催期間：4月29日(土・祝)～5月5日(金・祝) (年輪の里「ゴールデンウィーク」) ・開催場所：丹波年輪の里木の館ホール ・出展者数：木工作家14人、31脚の出展 ・来場者数：1,375人	120,000	93,164
(3) 公3共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	36,411,000	36,276,956

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等 (事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 またSNSは社会的な構築をインターネット上ですることができ、今まで知り得なかった人や地域とつながり、若者世代にも伝わりやすくなる。SNSを活用し、ネットワークを広げ、ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。	○年報 (年1回発行) ・8月発行 協会ホームページに掲載 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ・アクセス件数 延べ 4,462件 (兵庫丹波の森協会) 〃 26,286件 (丹波の森公苑) 〃 52,584件 (丹波年輪の里) 〃 29,109件 (ささやまの森公園) 〃 131,245件 (丹波並木道中央公園) ○フェイスブック、インスタグラム、X (旧ツイッター) による情報発信 ・随時更新 ○フェノロジーカレンダーによる情報発信	1,589,000	1,565,973
		「ひょうごフィールドバビリオンSDGs体験型地域プログラム」を通じて、丹波地域の魅力を全国並びに世界に発信する。	○ひょうごフィールドバビリオンSDGs体験型地域プログラムの提供 認定プログラムの名称「丹波の森で遊び学ぶ」 ・丹波地域情報交換会参加 プログラム提供者の情報交換、コンテンツの磨き上げ 日時：4月11日(火)、6月27日(火)、12月12日(火) 令和6年3月5日(火) ・プログラム提供者の磨き上げ おもてなし力向上、インバウンド対応の研修参加 日時：10月11日(水) ・情報発信 県民だよりHYOGO1月掲載(ささやまの森公園)		
	イ 運営委員会の開催 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ・開催日：令和6年3月7日(木) 14人出席 ○丹波年輪の里運営協議会 ・開催日：令和6年3月6日(水) 13人出席 ○ささやまの森公園運営協議会 ・開催日：令和6年2月29日(木) 16人出席 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議 ・第1回：8月30日(水) 13人出席 ・第2回：令和6年3月8日(金) 13人出席	273,000	245,771

Ⅱ 収益事業会計等

収 1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	○公益目的以外で施設を貸与 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ○施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ①飲み物の自販機設置 ・丹波年輪の里 ①レストラン施設貸与 ②飲み物の自販機設置 ・丹波並木道中央公園 ①飲み物の自販機設置 ②物販販売場所の提供 ③レンタサイクル事業 ○木工クラフトキット、加工木材等を販売	7,114,000	5,715,934

他 1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑)	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：30 団体 【主な実施事業】 ①ふるさとの心をうたう丹波音楽祭 ②丹波文化活動交流会 ③地域文化活動支援事業 ・夏休み子ども彫刻教室 ・夏休み子ども民謡教室 ④丹波地域文化フェスティバル ⑤先進地視察研修 ⑥会報誌の発行	60,000	59,323
	イ 音楽活動団体等への支援 (協会事務局)	森づくり基金として受け入れた寄附金を活用し、丹波の森公苑ホールを利用する音楽関係団体等に対し、利用料に対する助成金を拠出し、団体等への支援を行うことで、音楽関係団体の発展等に寄与する。	○交付団体（3 団体） ・ハートフルコンサート実行委員会 ・たんばDE第九実行委員会 ・氷上吹奏楽団	100,000	150,000

Ⅲ 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 法人会計	ア 協会維持運営 (事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 ・第25回評議員会 4月1日(金) (書面同意)理事の選任について ・第26回定時評議員会 6月30日(金) 令和4年度事業報告及び収支決算の承認について、理事の選任について ○理事会 ・第46回理事会 6月13日(火) 令和4年度事業報告及び収支決算、令和5年度収支補正予算、第26回評議員会の招集について ・第47回理事会 令和6年1月25日(木) 令和5年度収支補正予算(第2次)について、 ・第48回理事会 令和6年3月22日(金) 丹波の森創造計画及び兵庫丹波の森協会アクションプランについて、令和5年度収支補正予算(第3次)について、令和6年度事業計画及び収支予算について、第27回評議員会の招集について、事務局長の選任について、役員等賠償責任保険契約の更新について、 ○監事監査 5月26日(金) ・令和4年度事業報告及び収支決算について ○中間監事監査 11月14日(火) ・令和5年度上半期事業報告及び収支決算について ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理費	15,210,000	14,690,512
	イ 「丹波の森宣言・丹波の森構想」の「アクションプラン」づくり (協会事務局)	「丹波の森宣言・丹波の森構想」を基本理念とし、実現するための「アクションプラン」づくり。	○「アクションプラン」づくり 「丹波の森宣言」「丹波の森構想」を基本理念とし、30周年記念に整理された「丹波の森づくりの取組方向(提言)」や「丹波2050地域ビジョン」を踏まえつつ、今後どのように取り組むかの「アクションプラン」を作成する。 ・丹波の森を考える小委員会 7月11日(火)、11月2日(木) ・丹波の森構想推進連絡会(市・県・協会) 4月27日(木)、6月29日(木)、令和6年1月11日(木) ・四者会議 12月5日(火) ・協会内部協議 随時丹波の森研究所との協議や施設長会議で協議		
	ウ 市・県との連携強化 (協会事務局)	丹波の森構想、丹波の森宣言、丹波の森づくりの理念を広く情報発信し、「気づき・学び→体験・理解→地域で実践する」ため、その機会を積極的に提供していくため、協会・市・県が一体的に取り組む体制を強化する。	○協会・市・県等の連携強化 ・定期的な丹波の森構想推進連絡会の開催 構成：協会・丹波篠山市・丹波市・県民局連絡会(4/27,6/29,1/11) ※アクションプランの中で、市、県、協会の連携強化を計画中 ○2市担当部課との意見交換 ・2市担当部門と協会(研究所含む)で研究テーマや連携した取り組みについて意見交換 12/21(丹波市) 1/18(丹波篠山市)		

令和5年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1)丹波の森公苑

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	265 ^日	84 ^日	31.7 [%]	18,497 ^人	2,913,150 ^円	246,700 ^円	1,180.8 [%]
練習室兼楽屋	309	153	49.5	4,660	411,900	207,600	198.4
楽屋A	309	54	17.5	543	78,400	4,700	1,668.1
楽屋B	309	59	19.1	307	34,400	2,000	1,720.0
創作工房	309	167	54.0	4,358	446,550	358,700	124.5
多目的ルーム	309	193	62.5	10,757	1,135,600	1,175,000	96.6
和室	309	94	30.4	841	75,000	53,700	139.7
会議室1	309	165	53.4	1,868	141,000	163,200	86.4
会議室2	309	74	23.9	651	65,000	76,000	85.5
会議室3	309	138	44.7	2,093	182,800	194,900	93.8
セミナー室	309	163	52.8	5,018	458,500	475,000	96.5
コワーキングスタジオ	246	32	13.0	304	104,700	0	-
キッチンスタジオ	246	22	8.9	185	30,300	0	-
テニスコート	290	265	91.4	10,210	3,248,575	1,968,450	165.0
グラウンド	290	142	49.0	10,128	315,700	320,500	98.5
計	4,427	1,805	40.8	70,420	9,641,575	5,246,450	183.8
前年度計	3,182	1,429	44.9	45,216			
前年度対比		126.3 [%]	90.8 [%]	155.7 [%]			

(2) 丹波年輪の里

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
	日	日	%	人	円	円	%
ホール	309	309	100.0	20,612	0	0	0.0
工作室A	309	15	4.9	538	27,600	26,500	104.2
工作室B	309	54	17.5	2,722	28,800	44,550	64.6
アトリエA	309	54	17.5	910	17,350	0	0.0
研修室A	309	87	28.2	2,362	215,350	158,400	136.0
研修室B	309	112	36.2	1,958	218,350	103,000	212.0
会議室	309	57	18.4	690	53,450	44,550	120.0
工作共同	309	240	77.7	2,568	196,510	155,850	126.1
イベント広場	309	199	64.4	61,861	258,900	123,300	210.0
計	2,781	1,127	40.5	94,221	1,016,310	656,150	154.9
前年度計	2,646	1,054	39.8	58,917			
前年度対比		106.9%	101.7%	159.9%			

(3) ささやまの森公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
	日	日	%	人	円	円	%
一般	309			22,580			
プログラム				1,783			
団体利用				933			
その他				307			
運営協議会				0			
計					25,603		
前年度計	309			21,725			
前年度対比				117.9%			

(4) 丹波並木道中央公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	開場)			236,825			
プログラム				22,757			
団体利用				3,824			
その他				0			
円卓会議				26			
計				263,432			
前年度計	183			294,155			
前年度対比				89.6%			

令和5年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公園指定管理	兵庫県	142,905,000	142,905,000	0	県立丹波の森公園に係る施設維持及び運営管理業務			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	75,481,000	66,220,000	9,261,000	県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理			施設の維持管理に係る次の再委託は、省略した。 ・清掃委託 ・機械警備委託 ・各種設備保守管理委託 ・ホール運営業務等
	兵庫県	11,451,000	5,478,000	5,973,000	県立丹波年輪の里の木の館ホール及びレストラン棟の空調設備整備工事、屋外トイレの改修工事			
	兵庫県	7,285,000	7,285,000	0	県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	40,260,000	40,260,000	0	県立丹波並木道中央公園に係る施設維持及び運営管理			
都市公園整備事業	兵庫県	11,000,000	4,760,712	6,239,288	丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。			
太古の生きものの館の施設管理	丹波篠山市	173,800	158,400	15,400	丹波篠山市立太古の生きものの館の施設管理業務を行う。			
丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	1,725,000	1,725,000	0	認定したモデル団体10団体に対し、アドバイザーを派遣し、計画策定後の活動を継続的に進め、イベント企画、行政担当部局や木の駅プロジェクトとの連携など、30年間の長期活動の運営ができるよう支援を行う。			
		1,650,000	1,650,000	0	子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。			

291,930,800 270,442,112 21,488,688